

【本社周辺分会】

支部11期テーマ

「メンバー一人ひとりの幸せのため、
個の想いを大きな力に変えていこう」

前半年度 分会活動テーマ

小さな縁をつないで大きな円へ
～コミュニケーションを軸にチームを超えて
相互理解を深め、働き方を進化させよう～

支部 重点項目

主体的な
Voiceサイクル

信頼感を持った
経営との対話

納得性のある
人事賃金制度の
構築

重点項目 アクション宣言

- 組合役員を中心に各所属で取り組んでいる内容など相互理解やコミュニケーション向上の促進に取り組めます。
- 各所属の「働き方」「業務改善」について、組合役員中心に情報収集をおこない、必要に応じて職場懇話会の開催や支部経営対策につなげます。
- 分会や支部を超えた活動(Be「I (One) MGU」※本部方針参照)を推進し、新たなVOICEサイクルの拡散に取り組めます。

<重点取り組み>

- 職場委員会での勉強会開催や好事例共有を図ることで、組合役員の意識・知識の向上を図ります。チーム内でのVOICEサイクル推進を目指します。
- VOICEサイクルの起点となる「聴く」を重視しメンター活動を推進します。
- 組合役員間の連携を強化しタイムリーな労使の意見交換・課題提起につなげます。
- 兼任役員からメンバーに対して組合活動の発信を都度おこなうことで、活動の周知と声の集約を図ります。
- 所属紹介やダイバーシティ関連VOICEを通じて、メンバーとメンバー、所属と所属をつなげます。
- 出向者との接点強化のための土壌づくりに着手し、必要に応じて課題解決に向け関係各署との連携を図ります。

兼任執行委員が やるべきこと

- さらなる自律的なVOICEサイクル(メンバーニーズを踏まえたテーマ別VOICEの企画運営)を推進します。
- チーム内でVOICEサイクル推進を目指す上で役員間の連携を活性化します。そのためにチーム内の人材育成を意識します。

専従執行委員が やるべきこと

- 組合役員全体およびメンバーへの意識・知識の啓発に取り組めます。
- 兼任執行委員との役割を明確にする中、兼任役員不在所属や出向者メンバーとの接点強化・声の集約につながる土壌づくりを図ります。